



教科名： 制動装置点検整備

2024年度

実習

一級自動車工学科・自動車整備科

時 期： 1年 前期

科 目： 自動車整備作業

時限数： 32時限

<改訂履歴>

改訂年度	改訂事由	発行日/担当	
FY18	シラバスメンテナンス	1/23	中野
FY19			
FY20	内容確認 変更なし	3/10	合田
FY21			
FY22	内容確認 変更なし	3/19	村上
FY23	シラバスメンテナンス	6/1	合田

教頭	課長	学年統括	教科担当	教科担当

一級自動車工学科・自動車整備科 2024年度					授業計画	
時 期	1年前期	単元	実習	教科名	制動装置点検整備	
科 目	自動車整備作業	教科書等 持参品	三級自動車シャシ 学習ノート(初回授業時配布)		発行日	2019/1/23新規
※ 注1 総時限	32時限		教科担 当	中野 秀樹	※ 注2 ● ■	
※ 注1 授業時間	51.2時間					
一般科目と休講等予期せぬ事態に備えた余剰分を含め、合計時間は1945.6時間（50分ベース）を確保（法定合計時間1800時間（50分ベース）						
1. 指導教員の実務経験 該当 非該当						
自動車整備士として制動装置分解組立の実務経験がある教員により制動装置の分解組立について指導する						
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）						
①ブレーキ装置の重要性を理解させ、確実な作業を体得する。 ②ブレーキ装置の分解・組付けが正確に出来る。 ③ブレーキ装置の調整が正確に出来る。 ④エア抜き作業が確実に行える。						
3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来ようになるのか）						
①ディスク・パッド、ブレーキ・シューの脱着作業が、規定時間内で正確に行える。 ②適正なシュー・クリアランス付近までブレーキ仮調整が出来る。 ③エア抜きが確実・迅速に行え、良否の判断が出来る。						
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）						
実習評価点は、技術評価点（70点）+レポート評価点（15点）+取組評価点（15点）とし、 60点以上（工学科は70点以上）を合格とする 技術評価点 実技試験：70% ①ブレーキパッド脱着 ②ブレーキシュー脱着 ③ディスクロータ振れ点検 学科試験：30% ①名称試験						
5. 準備学習						
・三級自動車シャシ、学習ノートの該当項目について予習しておくこと。						
※注1 総時限の1時限は、80分/1時限を表し、授業時間の1時間は、50分/1時間を表す ※注2 ●⇒実務経験がある教員 ■⇒日産資格保持者						
6. 指導目標						
①確実な作業が行なえるようブレーキ装置の構造・作動を理解させる。 ②ディスクパッド、ブレーキ・シューの正確な脱着作業が、規定時間内で終えるよう習得させる。 ③ブレーキ調整が出来るように感覚を体得させる。 ④ブレーキ・エア抜きの重要性を理解したうえで、作業が正確に行えるよう習得させる。（確認作業も含む）						

2024年度 授業計画

[illegible]

一級自動車工学科・自動車整備科

2024年度

授業計画

時 期	前期	単元	実習	教科名	制動装置点検整備
7. 安全（KYのため必ず授業内で説明）					
番号	作業名	遵守事項	災害事例	チェック	
1	ディスプレイキパッドの脱着	安全めがね着用 作業グローブ着用			
2	リヤブレーキライニングの脱着	安全めがね着用 作業グローブ着用	脱着時、工具で手先を負傷。		
3	ディスプレイキイナーキットOH	OH作業時、指先に注意する。	脱着時、工具で手先を負傷。		
4	リヤブレーキカップキットOH	OH作業時、指先に注意する。	脱着時、工具で手先を負傷。		

8. 授業レイアウト（写真の貼り付けも可）

実習場



実習車両1台当たり4～5名（5グループ）で実習を行う。



作業テーブル1台当たり3～4名（6グループ）で実習を行